高梁市地域おこし協力隊

高梁市 地域おこし協力隊だより

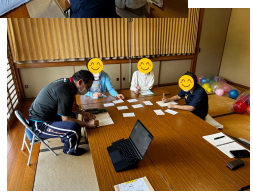
2025年1月号

過去の記事はコチラ！

現在、高梁市では9名の地域おこし協力隊員が活動しています。
今月は4名の隊員の活動についてご紹介します。

みやざきかずや
宮﨑知也 岡山県岡山市出身

【ミッション】
・ICTを活用した医療介護現場の労働環境改善
・福祉活動の活性化



特別養護老人ホーム鶴寿荘ICT利活用の取り組み

こんにちは。本年もよろしくお願いいたします。

以前ご紹介させていただきました特別養護老人ホーム鶴寿荘にて、ICTを活用し業務を効率化しながら、生産性の向上を目指す取り組みを進めています。具体的には、記録システムを導入して作業時間を削減し、利用者さん一人ひとりにより丁寧な対応ができるようにしています。このたび、第2回ICT推進委員会を開催し、介護ロボットを活用した新たな業務改善に向けてのキックオフ宣言を行いました。これまで、記録システムの活用を中心に進めてまいりましたが、来年度からは本格的に睡眠センサーの活用を開始いたします。利用者さんの中には、様々な理由で夜間に十分な睡眠が取れず、日中ベッドで過ごす時間が長くなる方もいらっしゃいます。そこで、ベッドに設置するタイプの睡眠センサーを使用し、利用者さんの睡眠状態や脈拍、心拍といったバイタルデータを記録します。このデータを基に、夜間の排泄ケアや服薬のタイミングを見直したり、日中の活動プランを調整したりすることで、生活の質(QOL)の向上を目指します。これにより、日中にしっかり活動し、夜間に質の良い睡眠を取るという、いわば当たり前の健康的な生活リズムの実現を目指しています。

ICTや介護ロボットの利活用は、業務の効率化だけでなく、最終的には利用者さんのQOLを高めることが最も重要です。今回の内容は少し専門的なお話になってしまいましたが、高梁市の介護現場での取り組みをみなさんに知っていただければ幸いです。

ふじはらけいか
藤原恵佳 島根県出雲市出身

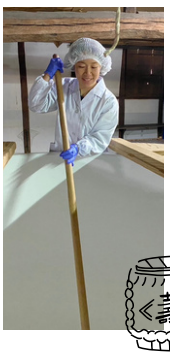
【ミッション】
吉備国際大学シャルムスポーツ振興

夢であったお酒造り！

11月から12月にかけて芳烈酒造でお酒造り体験をさせていただきました！最初に酒造りの工程を教わり、蒸したお米を窯から取り出して粗熱を取る作業や、大きなタンクに運び入れる作業を体験しました。蒸し上がったお米は非常に熱く、均一に冷ますために根気よくひっくり返す必要がありました。また、重いお米を運びハシゴを登る作業は体力と集中力が求められるもので、従業員の方々の仕事の大変さを改めて感じました。

芳烈酒造では、現代の機械化が進む中でも手作業にこだわっています。丁寧に作業をすることでお米が均一にばらけ、酒造りに良い影響を与えるのだそうです。このような細部へのこだわりが芳烈酒造の味を支えていると実感しました。

さらに、自分が作ったお酒にデザインしたラベルを貼り、コラボ商品として世に出せることが決まりました。酒造りを体験することは一つの夢であり、その一部に関われたことに大きな喜びを感じています。短い時間でしたが、日本酒への愛着が一層深まる、とても貴重な体験でした。



発行：高梁市地域おこし協力隊

高梁市

2025年1月号

地域おこし協力隊だより

過去の記事はコチラ！

現在、高梁市では9名の地域おこし協力隊員が活動しています。
今月は4名の隊員の活動についてご紹介します。

高梁がもっと好きになりました！✨

あおやまみさと
青山美里 埼玉県さいたま市出身

【ミッション】
吉備国際大学シャルム
広報（SNSによる情報発信）

Instagramアカウント

12月は地域の方と交流する機会が多くありました。
12月10日には、川上小学校で「シャルムの選手と語る会」ということで、講演会に呼んでいただきました！
小学生に向けて、自分の夢についてお話ししました。
また、6年生とはそれぞれの夢について教えてもらいました。私が小学生の頃ははっきりとした夢をもっていなかったので、みんなはっきりとした夢を持っていてそれに向けてどうするべきか考えることができていることに驚きました😳
12月15日には、松原で行われるやまびこ広場感謝祭に参加しました！
松原の地域の方々と餅を作ったり、野菜などの売り子をしたりしました！
たくさんの方が野菜などを買いに来てくれて、その日はとても寒かったのですが、寒さなんて関係なく、とても賑わっていました！
ありがとうと直接言ってくださる方や、頑張ってねと言ってくださる方もいて、とても温かい気持ちになりました。
高梁に住んでいる方はみんなとても優しくて、あたたかいです。
そんな高梁を地域の方ともっと盛り上げていけるように広報担当としてSNSや新聞などさらに力を入れていきたいと思います！
私たちの活動はInstagramをぜひチェックしてみてください☑️

「高梁市 有漢イングリッシュキャンプ」
～今日は1日英語でお話し、英語で交流♪～

しか まさお
志鹿優生 大阪府出身

【ミッション】
多文化共生のまちづくり

高梁の皆さん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
新春第一号の協力隊だより。今回は、昨年12月、常山交流センターで開催されたイングリッシュキャンプのご紹介です。
市内の小・中学生をはじめ、保護者、地域の皆様、スタッフ、総勢50名の参加者で元気いっぱいのキャンプを楽しんできました!!
最初に「英語で!自己紹介」。少し緊張した面持ちでのスタートとなりましたが、みんな頑張って、好きな食べ物や趣味などを英語でスピーチ。その後、「国旗クイズ」など、ゲーム感覚のアクティビティが続きます。お昼には、有漢の郷土料理「かけめし」や大だこの入った「たこ焼き」、名物「けんびき焼き」の屋台も並び、育ち盛りの生徒のお腹を満たしてくれました。あっ、そうそう、もちろん、注文も英語で行います。
生徒「How much is this?(これは、いくらですか?)」→ お店「It is two hundred yen.(それは、200円です。)」
ご出店いただいた地域の方々にも英語での会話をお願いし、盛り上げていただきました。そして、キャンプ最後は、みんなでDance（ダンス）♪今どきの子供たち、ダンスがとってもうまいんです。
この春には、高梁市立有漢学園も開校します！多文化共生の輪がどんどん広がるのを期待していまぁ～す！